

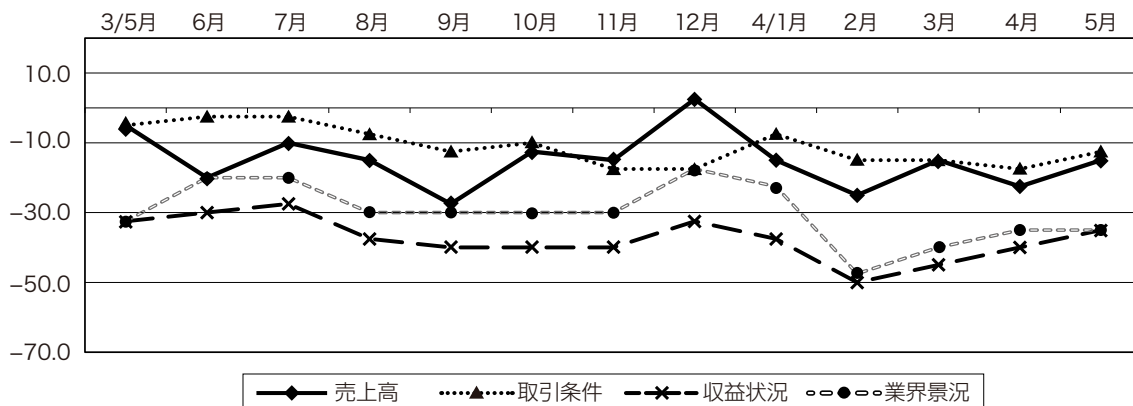


業界の今！

情報連絡員報告より
5月の業界の動き

◆ 令和4年5月度 情報連絡員報告 ◆

全業種DI値
業界の景気動向(前年同月比)



	3/5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	4/1月	2月	3月	4月	5月	増減
売上高	-5.0	-20.0	-10.0	-15.0	-27.5	-12.5	-15.0	2.5	-15.0	-25.0	-15.0	-22.5	-15.0	7.5
取引条件	-5.0	-2.5	-2.5	-7.5	-12.5	-10.0	-17.5	-17.5	-7.5	-15.0	-15.0	-17.5	-12.5	5.0
収益状況	-32.5	-30.0	-27.5	-37.5	-40.0	-40.0	-40.0	-32.5	-37.5	-50.0	-45.0	-40.0	-35.0	5.0
業界景況	-32.5	-20.0	-20.0	-30.0	-30.0	-30.0	-30.0	-17.5	-22.5	-47.5	-40.0	-35.0	-35.0	0.0

概要

令和4年5月の前年同月比DI値は、売上高が-15.0ポイントとやや改善傾向が見られるものの、収益状況が-35.0ポイントで依然として低迷している。原材料費、燃料費等の高騰に伴う適切な価格転嫁が進んでいない旨のコメントも多く、収益状況の回復はまだまだ見込めそうにない。コロナ禍からの回復基調の中、ウクライナ情勢の長期化や急速な円安の進行は、更なる業況悪化の懸念となる。

情報連絡一覧票 (三重県中小企業団体中央会・令和4年5月分)

原油価格及び原材料の高騰により、収益面は非常に厳しく、原材料高騰に対しての値上げ交渉も難しい状況である。(鍍金)			
	集計上の分類業種	業種詳細・地域	組合及び組合員の業況等(景況の変化とその原因・現状等、企業経営・業界での問題点)
製造業	食料品	すし・弁当・調理パン製造	コロナ感染症による人流規制が緩和され、ゴールデンウィーク期間のスポーツ関連のイベントの多くは3年ぶりに復活開催されたが、企業関連の行事は自粛解除には慎重で、実施見送りの行事が多数あった。また、連休明けにコロナ感染者数が増加したため、予定されていた他県との対抗試合が種目により中止された。日配弁当においては原材料費の高騰により、一段と厳しい状況が続いている。ケータリング関係は品質保持のため、値上げ要請を承諾して頂いているが、日配弁当では顧客の低価格指向が強く他業者と比較され、低価格帯の値上げ、底上げは厳しい状況である。ロシアによるウクライナ侵攻の影響で小麦、雑穀類の高騰は先が見えず、今後ますます関連商品の値上げが見込まれ、厳しい状況が続くものと考えている。
	鉄鋼・金属	鍍金	当業界の生産額は上海のロックダウン、中国部品メーカーの火災等があり、自動車関連がかなりの減少という状況であった。建築関連部品は横ばい、ガス関連部品も横ばいの状態であった。これはウクライナ情勢の影響に起因するものであり、原油価格の高騰、原材料(特に金属類)の高騰によるものであり、収益面は非常に厳しいものがあり、顧客先には原材料高騰に対しての値上げ交渉を継続中であるがなかなか難しい状況である。
	一般機器	津市	半導体不足と中国・上海でのロックダウンによる部品不足の影響により、自動車業界は5月についても稼働停止があったため、その影響が5月下旬からの受注にあらわれ、減少に転じている。売上金額では前年比98%であるが、材料高騰により単価が反映されただけであり、売上個数でみると前年比76%と悪化している。
非製造業	小売業	青果	野菜前半：大型連休の雨や気温の低下が影響し、全体的に入荷が少なく、キャベツ、レタス、ほうれん草の葉菜類が値上がり、ミニトマトは入荷が増加し、お買い得である。またプロックリーも安い。 野菜後半：愛知産のキャベツは順調に入荷し、少し安くなってきた。じゃがいもは平年並みの価格に玉ねぎは愛知産、兵庫産の入荷が伸びず、高値が続いている。6月かららっきょう、梅の入荷が本格化しそうであり、平年より高値になりそうである。 果物前半：熊本産クインシーメロンの入荷が増え、手頃な価格であり、赤肉で甘みが強い。スイカも徐々に増え、山形産サクランボも入荷が始まり、高値で推移している。 果物後半：熊本産、愛知産のスイカが順調に入荷している。クインシーメロンも順調に入荷で、値下がりした。熊本産、肥後グリーンメロンの甘味は最高である。島根産のテラウェアは少しずつ入荷が増え、値を下げつつある。
	サービス業	警備	昨年に続き、コロナの影響でゴールデンウィークの警備受注も少なく、売上が伸びなかった。
	建設業	水道工事業(亀山)	依然、給湯器、トイレの便座の入手が困難な状況が続いている。管材については、価格が上昇したが、入手は大丈夫な状況で、仕事がストップする状況ではないが、先行きはまだまだ不透明である。